

風早北部 防犯情報 しょうなん

風早北部ふるさと協議会
防犯防災部 作成
2023年1月10日
第120号

SHOW "No Action No-result"

冬季は乾燥した日が続きます 防火管理を徹底し 火災の発生を防ぎましょう



毎年冬場は乾燥した気候が続く中、暖房などで火を取扱う機会が増えます。ちょっとした不注意が火災の悲劇に繋がります。今回は家庭の防火対策7項目を案内しますので、是非とも徹底しましょう。

①家の周囲に燃えやすいモノを置かない

放火の危険を未然に防ぎましょう。



放火犯のターゲットにならないよう自宅周辺になるべくモノは置かない、刈り取った草木を置きっぱなしにしないようにしましょう。防犯用の自動感知照明も有効です。

②寝たばこやたばこのポイ捨ては絶対ダメ

③強風時の焚火は厳禁

火災発生原因でもっとも多いのが火の始末です。寝る前に寝室でのタバコは細心の注意を。路上への吸い殻ポイ捨てはマナー違反だけでなくことも留意してください。

たばこの火が700～800℃もの高温であることを忘れずに。



飛び火して思わぬ火災になることがあります。



焼き芋はいつでも食べられますが、一旦火災を起こしたら、最悪は、さつま芋すら買えないくらい取り返しのつかない代償を支払うことになります。

風がある日、集めた草木は燃えるゴミに出すことにし、焚火は諦めましょう。

④ 子供にマッチやライターをさわらせない

ライターを触らせない、家の中でもライターやマッチを小さい子供の手が届く場所には決して置かないことを心がけましょう。仏壇の火の管理は大丈夫ですか？



子どもたちに火の恐ろしさを教える。

火遊びは絶対にやめましょう。

⑤ 電気製品は正しく使用しタコ足配線はやらない

決められた容量以上で使用するとプラグが熱を持って危険です。



コンセント周りの埃の掃除もこまめに行いましょう。



天ぷら油の過熱に注意を。天ぷら油は高温になると火種がなくなると発火し、燃え出します。

⑥ 天ぷら（揚げ物）調理時はその場を離れない



おもちゃを散らかしておく危険です。

⑦ ストープには燃えやすいものは近づけない

洗濯ものの部屋干しも、大きな失火原因となっています。

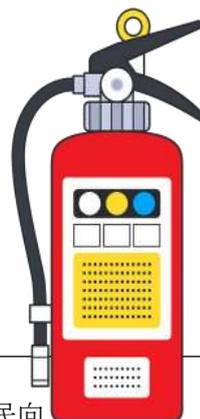
+ (プラス)ワン

消火器の配備は大丈夫でしょうか？ 取り換え時期が迫っていませんか？ 一度点検しておきましょう。

《次頁：電子レンジをお使いの際の注意点チラシもご覧ください》

消火器の使用期限を確認しておきましょう。期限が迫っていたら、直ぐに交換しましょう。

旧くなった消火器の処分は有料ですが、ホームセンターによっては、新たな購入本数と同数の古い消火器を無料で引き取るサービスも行っています。



注：屋内火災報知器の点検方法は、このサイト上の「防犯・防災」→「防災関係の住民向け情報ほか」のアイコンから柏市消防局発行「消防局かわらばん」の裏面をご覧ください。